

正善寺だより

発行第 77 号

もん ・ もん ・ もん

聞・聞・聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成19年11月6日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目 10 番 31 号 電話 093 (541) 2409 番

本願寺展へ

バスツアー 緑の湯布院から

太宰府 九州国立博物館へ

みんなで行ってきましたよ。



九州国立博物館前にて

ご 案 内

御正忌報恩講法要

と き 平成19年11月16日より18日まで

	16日(金)	17日(土)	18日(日)
昼席	午後1時30分	午後1時30分	午後1時30分
夜席	午後7時30分	午後7時30分	おとさ 12時より

講 師 (大分県宇佐市・崇福寺住職)

本願寺派布教使 前田賢聖師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

報恩講

今から八百年ほど前、京都の日野の里でお生まれになった親鸞さまは、四歳の時に、お公家さんであったお父さまを、また八歳の時には、大切なお母さままで亡くされたのです。まだ幼い親鸞さまは、どんなに淋しかったことでしょう。

それからは叔父さんに育てられましたが、お公家さんになることも、武士になることもいやで、九歳の時、お坊さんになりたいと、いい出されたのです。「そんなにお坊さんになりたいのなら、十五歳に得度（僧になる儀式）をしよう。」といわれた叔父さんに「明日ありと思う心のあだ桜、夜半に嵐の吹かぬものは」という歌をよまれて、明日を待たずにその晩、ろうそくのあかりで、頭をそってもらって、お坊さんになられました。

比叡山で二十年間も勉強なされた親鸞さまは、二十九歳で山を降りて、お念仏の教えをよろこばれるようになりました。それから九十歳で亡くなられるまで、ある時は、お念仏の教えに反対する人たちに流し者にされたりして、大変なご苦勞をなされたのです。でもどんな時でも「おかげさまで」と仏さまのご恩をよろこばれました。

そして正しい仏さまの教えを説き、本をあらわして、人々にも伝えて下さったのです。おかげで私たちは、尊い仏さまの教えが、よくわかるようになりました。

昔の人びとは、このご恩を思って、「ご命日に仏さまのお話を聞かせていただき、お念仏をよろこぶ人になりましょう。そうすれば、親鸞さまはきっと喜んで下さるにちがいない。」と考えて、聖人のご命日を報恩講（ご恩返し集まり）と名づけられたのです。私たちのご先祖は、すばらしいよび名を考えつかれたものですね。 青柳田鶴子一ほとけの子 抜粋

日帰りバスツアー 思い出をありがとうございました。

美味しい昼食をいただきました。お勧めビールでほろ酔い気分・・・食後のカフェは別室へ。ちょっとセブかも



2007. 10. 10 湯布院 無量塔 前にて



本願寺展入り口の様子

なかなか見れない展示品をゆっくりと見る事が出来ました。入れ替わりの展示も有るようです。もう一度行ってはどうですか？

報恩講の際にご進納ください。 総代会

『お米』の供物上げ』 お米を「仏飯米供物袋」に入れてお届け願います。

お仏飯（仏前—阿弥陀さま—にお供えする米飯）供飯（祖前—親鸞さま等—にお供えする米飯）

正善寺門信徒護寺会費 納入のお願い

平成19年度分会費（一世帯について 年間1口金3,000円以上）及び過年度分未納会費の納入方お願いいたします。

正善寺納骨所維持冥加金（管理費） 納入のお願い

当山納骨所使用の方で、平成19年度分の維持冥加金（管理費年間 金3,000円）及び過年度分未納管理費の納入方お願いいたします。

親鸞聖人 七百五十回大遠忌法要

2011(平成23)年4月より

2012(平成24)年1月まで

各門徒へ懇志割当

京都 西本願寺

懇志金未納の方は、随時協賛納入方お願いいたします

1口金、30,000円也

新納骨所
永代使用受付中

上級 天人(九十万円)は、
残り七基となりました。

お磨き 11月13日(火) 昼食

10:00より15:00まで 準備しています
報恩講を迎えるにあたり金仏具を磨きます。

正善寺女性の会「かすみ草の会」お磨きとあわせ開催します。

ご都合のある方は時間内少しでもよいのでぜひお願いします。

「お斎接待」ご案内

11月18日(日) 正午より
《お斎券》をお持ちください
まだの方ぜひ一度お召し上がり下さい。

かすみ草の会の皆さんは

9時集合

来年(20年)の年忌法要

()内は来年の対象年次数です。

- ・ 一周忌 (平成19年往生)
- ・ 三回忌 (平成18年往生)
- ・ 七回忌 (平成14年往生)
- ・ 十三回忌 (平成8年往生)
- ・ 十七回忌 (平成4年往生)
- ・ 二十五回忌 (昭和59年往生)
- ・ 三十三回忌 (昭和51年往生)
- ・ 五十回忌 (昭和34年往生)

正善寺お花だより



行事のご案内【報恩講は浄土真宗門信徒の最も大切な法要】

第73回 **かんたけほいくえん**

おゆうぎかい

とき 12月8日(土) 9:30より
ところ 神岳保育園ホール

じよやのかね 除夜会

12月31日(月) 大晦日

午後10時30分より午前1時まで

平成20年 修正会

元旦 午前1時より(除夜会終了後)

忘年会!!

今年も皆で楽しみましょう!!
歌って、踊って、ゲームして、にぎやかに今年も涙を流して笑って過ごしましょう! 豪華賞品も用意していますヨ!

とき 12月15日(土) 18:00より

ところ 小倉北区 観山荘本館

17:50 現地に集合下さい。

会費 一人 6,000円 当日集めます。
申し込み 12月10日までにお寺へ申込み

… 1年間お世話になりました。 …

次回の法要のご案内

春季彼岸法要



【とき】 平成20年3月13日(木) 昼・夜(住職-自勤) 14日(金) 昼のみ

【講師】 下関市在住 安芸教区 西教寺 本願寺派布教使

寺田教昭師

編集後記

11月に入り、とても秋らしくなってきました。先を思うと今年もあと2ヶ月、本当に月日のたつ早さを感じます。そして、今年1年を思いかえしてみると、バタバタとただ走り回り、何か自分にできた残せる大切なものはあったらうかと反省ばかりです。今年はテレビの中でも、「そんなの関係ねえ!」という言葉をよく耳にしました。彼がテレビの中でその言葉を言うとみんな笑う、そういう私もついプツと笑ってしまっていたのですが、物事をただ自分に関係あるか無いかで済ませてしまう。自分にとって有利でなければ「関係ねえ!」で終わってしまう。そしてそこで一線を引いて終わりにしてしまおう。こういう言葉が軽い笑いとして頻りに使われるようになる日本の国は、とても怖いことだと思います。

仏教で説く因果の道理、それは「縁」に催されるとの釈尊の真実の教えです。「関係ねえ!」ことは何もありません。その「ご縁」という言葉の重さは消えてしまうのでしょうか。「不思議なご縁ですね」「ありがたいご縁でしたね」と言葉する中に、人と人との温かさを感じるのですが…。関係ないと思っていたことが、そこでどんな大きなご縁に変わっていくかわからない。そんなことがあるから人生は有難く、尊いのだということをあらためて思っています。

今月は正善寺も浄土真宗のご門徒の大切な「御正忌報恩講」が勤まります。「報恩講—そんなの関係ねえ!」とは言わずに是非一度、お参りにみえられませんか。大きな大きなご縁に包まれていることを、共に喜び感じ得ることが出来たらと念じます。 称 名